様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日 2024 年　1 月　　9 日

１．職名・氏名　教授・小松恭代

２．学位　　学位　博士、専門分野　アメリカ文学、授与機関　金沢大学、授与年　2013

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 2023 年度 前期：「英語 I」（1 単位）3 クラス　「英語 IIb」（1 単位）1 クラス　「英語特論」（2 単位） 後期：「英語 I」（再履修）（1 単位）1 クラス「英語 II b」（1 単位）4 クラス
②内容・ねらい 「英語 I」 高校までの学習内容を基礎として、英語を実践的に活用できるようにする。 英語の 4 技能のさらなる向上をめざすとともに、異文化および自文化の理解を深める。 英検 2 級程度の英文を速く確実に読むことができるように、文法事項の再確認を行いながら読解力の向上を目指した。 「英語 IIb」 おもに TOEIC テスト用の教材を用い、読解力およびリスニング力の向上を目指した。また、E メールを英語で書く練習も行った。 「英語 I」（再履修） このクラスには何等かの問題を抱える学生が集まっている（今年度 36 名）。各学生をよく観察し、授業に出席できない学生等について学部の相談教員や担任に連絡した。英語に関しては文法事項の再確認と英文の読み方を指導した。また、簡単なテーマで英語エッセイを書いてもらい、実践を通じて英語への関心を広げる工夫を行った。 「英語特論」（前期） 実用英語検定準 1 級合格を目指す授業を行った。特に読解、エッセイ・ライティング、スピーキングに力を入れた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・英語の基礎力を伸ばすだけではなく、ストーリー作成、対話文の発表、プレゼンテーションなど実際に英語を使う活動を取り入れる。 ・異文化理解を深めるために、異文化をテーマとしたテキスト及び、ネット上の動画を教材として使用する。 ・アクティブラーニングを重要なグループ活動として取り入れ、学生の思考力やコミュニケーション力の向上を図る。 ・受講学生の顔と名前を覚える等、学生との関係性を重視している。学生間の親睦を深めるためにペアワーク、グループワークを多く取り入れることで、各学生の居場所をクラス内に作る取組を行っている。
(2)その他の教育活動
内容 公開講座：タイトル「TOEIC スコア 600 点越えのためのパ―ト５対策」 ３回講座（５～７月に月１回）

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②学術論文（査読あり） 「ヨシコ・ウチダの『ぶんぶく茶釜とその他日本の昔話』を強制収容との関連で読む」 単著（小松恭代） *New Perspective*（第 217 号）46-55 2023 年 7 月 【1 本】
③その他論文（査読なし） 【　本】
④学会発表等 【　件】
⑤その他の公表実績 【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
科学研究費 2021 年度からの継続（2021 年～2023 年） 「ヨシコ・ウチダの文学作品における日本文化や日本的価値観の表象」 基盤研究（C）21k00365　（2021 年～2023 年）

(3)特許等取得

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
論集編集委員会 時間割・共通科目検討協議会
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など